

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和4年度）

1. 施設名等

施設名	大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館 (愛称:るるパーク)	所在地 電話番号 ホームページ	杵築市山香町大字日指1番地1 0977-28-7111 http://oita-agri-park.or.jp/
-----	--------------------------------------	-----------------------	---

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	(公社)大分県農業農村振興公社 大分市舞鶴町3-3 STビル8階 令和3年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課 (局・室)	農林水産部 地域農業振興課 TEL : 097-506-3582
-------	-------------------	---	-----------------	-------------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成13年4月21日
設置根拠	大分農業文化公園の設置及び管理に関する条例 大分県都市農村交流研修館の設置及び管理に関する条例
設置目的	(大分農業文化公園) 豊かな自然と親しみながら農業・農村の文化等に関し学習する機会を提供することにより、農業・農村及び自然環境に対する県民の理解を深めるとともに、新しい農業・農村づくりに資する。 (大分県都市農村交流研修館) 都市と農村との交流の促進を図るとともに、農村女性の能力の開発及びネットワークの形成に資する。
事業内容	(大分農業文化公園) ①農業文化公園の施設及び設備の利用に関すること。 ②農業・農村に係る情報の提供に関すること。 ③都市と農村との交流の促進に関すること。 ④①～③に掲げる事業のほか、農業文化公園の目的を達成するために必要な事業。 (大分県都市農村交流研修館) ①都市と農村との交流に関する研修等を行うこと。 ②農村女性の能力の開発及びネットワークの形成に関する研修等を行うこと。 ③農業・農村に関する情報を収集し、及び提供すること。 ④交流研修館の施設及び設備の利用に関すること。 ⑤①～④に掲げる事業のほか、交流研修館の目的を達成するために必要な事業。
施設内容	(大分農業文化公園) メイン施設(事務室、物産館、花昆虫館、大分県都市農村交流研修館)、みどりの広場、フラワーガーデン、薬草薬木園、果樹園、クライנגルテン、体験農園、コテージ、オートキャンプ場、つばき園、花木園、ピクニック広場、駐車場、トラムカー、その他施設(貸し自転車、ボート、大型遊具等) (大分県都市農村交流研修館) 大研修室、研修室、会議室、和室、手づくり工房、調理実習室
使用料等	【大分農業文化公園：利用料金】 オートキャンプ場利用料：4,200円/泊、デイキャンプ(日帰り)：1,900円/回、 コテージ利用料：10,500円/泊(週末等14,700円/泊)、 ボート：1,000円/30分、 自転車：350円/2H、 電動トラムカー：200円/回 【大分県都市農村交流研修館】 大研修室：3,100円/H、研修室：1,300円/H、会議室：850円/H、 手づくり工房：950円/H、調理実習室：650円/H、和室：450円/H、マイク：500円/本
閉館日	毎週火曜日、1月1日(ただし、臨時に休園し、又は休園日に開園することがある。)

4. 目標指標の達成状況

(大分農業文化公園)

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
入園者数(人)	令和元年度	330,000	293,713	89.0%
	令和2年度	330,000	243,670	73.8%
	令和3年度	310,000	335,747	108.3%
	令和4年度	320,000	274,441	85.8%

(大分県都市農村交流研修館)

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用人数(人)	令和元年度	-	31,627	-
	令和2年度	-	2,391	-
	令和3年度	30,000	4,224	14.1%
	令和4年度	31,000	5,811	18.7%

(大分農業文化公園)

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度(5段階評価) ※R3年度より新規追加 ※R元年～R2年度の実績は参考値	令和元年度	-	4.2	-
	令和2年度	-	4.4	-
	令和3年度	4.0	4.6	115.0%
	令和4年度	4.1	4.6	112.2%

(大分県都市農村交流研修館)

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度(5段階評価)	令和元年度	4.5	4.8	106.7%
	令和2年度	4.5	4.6	102.2%
	令和3年度	4.7	4.9	104.3%
	令和4年度	4.7	4.9	104.3%

5. 施設の利用状況

(大分農業文化公園)

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和元年度	52,387	49,693	11,431	15,923	16,042	28,862	
	令和2年度	20,712	11,853	10,017	9,752	15,887	31,390	
	令和3年度	61,925	36,167	12,238	12,983	15,361	30,237	
	令和4年度	52,182	41,292	9,331	12,384	16,427	16,448	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和元年度	34,153	32,725	6,178	9,153	15,794	21,372	293,713
	令和2年度	61,429	28,379	7,660	6,183	17,360	23,048	243,670
	令和3年度	74,741	35,887	8,345	10,097	11,714	26,052	335,747
	令和4年度	54,270	24,935	4,941	7,031	11,969	23,231	274,441

(大分県都市農村交流研修館)

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和元年度	6,591	8,680	568	1,255	538	3,890	
	令和2年度	0	0	217	194	336	150	
	令和3年度	699	199	121	240	283	230	
	令和4年度	176	770	160	841	168	541	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和元年度	764	7,689	482	863	302	5	31,627
	令和2年度	534	472	133	132	73	150	2,391
	令和3年度	903	923	442	38	49	97	4,224
	令和4年度	809	780	308	208	776	274	5,811

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	園内4カ所(正面ゲートエントランス、物産館カフェ前、東管理事務所、ミニ動物園)にアンケートを設置し、消毒などの新型コロナウイルス感染症拡大防止策を行いながら回収箱にて回収。また、令和3年度よりQRコードを活用した、Webを通じてのアンケート調査も実施。
	実施結果	大分農業文化公園 回答数2,970件 満足度92.8% 大分都市農村交流研修館 回答数 371件 満足度98.4%
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
健康づくりのイベントがあればよい。		「おおいた歩得」と連携したウォーキングイベントを実施。
お弁当や軽食が買えるキッチンカーなどの出店があればよい。		週末にキッチンカーが出店する食のイベントを実施。
収穫体験等のイベントの宣伝を積極的にしてほしい。		公園HPの他にInstagramでも各種イベントを案内。
アウトドア初心者向けの企画を行ってほしい。		アウトドア体験教室等のアウトドア関係のイベントを実施。
トイレを整備してほしい。		トイレ洋式化工事を実施。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① 四季を通じて花のイベントが開催できるよう環境整備を行うとともに、多様なイベントが実施できるよう主催行事の充実や各種イベントの誘致を行った。キャンプ場については区画や駐車場の整備を行い、魅力向上に努めた。</p> <p>② 「アウトドア体験教室」や「親子アウトドアクッキング入門」(105人)を実施しHPやSNS等でも広報を行った。広報方法については、SNSの更新やテレビ新聞、雑誌等の無料で広報ができる媒体を活用した。定期的に情報発信を行うことで利用者の増加につながった。</p>
イベント等の充実	<p>① 自然の美しさを活かした季節イベント「ネモフィラブルーフェスタ」「コキアSeason4!」「椿まつり」などを実施した。同時に新商品の開発(ネモフィラ饅頭・ネモフィラ大福・コキア饅頭・コキアカレー等)や、テントやキッチンカーによる“食”の提供強化等の取り組みにより、来園者数と売上額の増加につながった。</p> <p>② 果物の収穫体験など従来から人気の農業体験に加え、季節の花の摘み取り体験(センニチコウ、スイートピー等)を実施し、より気軽に参加できる農業体験の拡充を図った。また、園内圃場を利用した「親子de農業体験」を開校。時期に合わせた野菜の収穫など土に親しみ親子で楽しみながら農業の大変さや食の大切さを学ぶ場を提供した。</p>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

(大分農業文化公園)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入額(A)		180,181	191,702	213,428	213,205
内 訳	県からの委託料	107,648	109,130	113,078	113,078
	管理維持体制持続化事業負担金	0	16,797	0	0
	利用料金	31,484	28,137	41,039	41,123
	サービス改善提案事業委託料	1,100	1,100	892	1,071
	飲食収入	15,141	13,132	19,937	22,542
	物品販売収入	23,208	22,065	31,459	33,594
	補助金等収入	100	0	5,450	300
	その他(自動販売機手数料等)	1,500	1,341	1,573	1,497
支出額(B)		180,181	191,702	213,428	213,205
内 訳	人件費	69,320	72,211	73,881	78,874
	維持管理費	64,347	71,594	79,006	66,403
	事業費	43,875	41,592	53,769	60,847
	サービス改善提案事業委託料	1,100	1,100	892	1,071
	補助金等	458	0	0	0
	その他(他会計振替額)	1,081	5,205	5,880	6,010
収支差額(A-B)		0	0	0	0

(大分県都市農村交流研修館)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入額(A)		24,538	23,574	24,277	24,430
内 訳	県からの委託料	21,861	22,176	22,724	22,724
	利用料金	941	304	446	490
	事業収入	1,736	1,094	1,107	1,216
支出額(B)		24,538	23,574	24,277	24,430
内 訳	人件費	8,225	8,186	6,316	6,330
	維持管理費	13,189	12,674	15,484	15,909
	事業費(研修関係費)	2,455	1,835	1,207	1,209
	その他(租税公課、他会計振替額)	669	879	1,270	982
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

(大分農業文化公園)

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和元年度	4,381	5,742	1,650	2,839	4,549	3,534	
	令和2年度	438	1,231	1,377	1,820	4,817	4,960	
	令和3年度	4,616	4,987	1,859	3,195	4,769	5,822	
	令和4年度	5,316	6,255	1,549	2,977	5,547	3,782	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和元年度	4,064	2,776	608	348	874	119	31,484
	令和2年度	4,683	4,016	873	236	1,173	2,513	28,137
	令和3年度	5,884	3,889	916	831	1,039	3,232	41,039
	令和4年度	5,931	3,216	630	959	1,389	3,572	41,123

(大分県都市農村交流研修館)

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和元年度	80	127	63	22	143	76	
	令和2年度	0	0	18	12	25	45	
	令和3年度	8	10	20	19	73	22	
	令和4年度	19	107	13	47	17	36	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和元年度	48	300	26	46	10	0	941
	令和2年度	68	74	15	21	15	12	305
	令和3年度	127	77	50	5	9	26	446
	令和4年度	52	26	37	5	107	24	490

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	大分県農業農村振興公社 └─ 大分農業文化公園管理事務所 └─ 園長(1名) ─┬─ 公園総務課 課員2名(職員2名) └─ 事業研修課 課員6名(職員6名) └─ 施設環境課 課員5名(職員2名、嘱託3名) └─ 農業課 課員4名(職員2名、嘱託2名) └─ パート38名							
	職員数 (R4.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
		13	38	5	0	0	0	56

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	① 接遇・マナー研修(4月)、食品衛生責任者要請講習会(6月)、GoogleビジネスプロフィールとInstagram活用セミナー(11月)等を受講し、担当職員が必要な知識の習得に努めた。また、来園者や販売収入の増加に向けて、物産館販売促進のためのマーケティングや集客に係る優先施策をテーマとした研修を開催した。 ② 毎月全職員が参加する全体会議を開催し、それぞれの情報・課題共有や意見交換を行い、意識向上等に繋げた。
防災に関する研修・訓練	① 消防署指導のもと、全職員が防火総合訓練(2回)に参加し、避難誘導や火災時対応の訓練を行った。
安全対策等	① 伐木等の業務に係る特別教育(5月)、全国安全週間オンライン説明会(6月)、チェンソー講習(6月)、熱中症予防・対応研修会(7月)等を受講し、各業務に関する知識と技術を習得し、安全対策を図った。